



「クマ被害を考える」

最近、朝のニュースで大きく報道されている「クマ被害」が気になっています。亡くなられた方々や怪我をされた方々、農作物の被害を受けた方々等に対して胸を痛めています。報道の在り方には違和感を持っています。ですから違った角度から「クマ被害」問題を考えてみたいと思いました。以下の文章は、一般財団法人 日本熊森協会のホームページに掲載されていた内容です。内容は削れないのでそのまま転載させていただきました。



『今も連日、人身事故が相次ぐ秋田県では、今年、クマは 1500 頭までは殺しても良いとして、山から餌を求めて里に出てきたクマはすべて殺処分しています。10 月 23 日現在で 46 件 53 名のクマによる人身事故が報告されており、クマ捕殺頭数も前代未聞の 1030 頭に登っています。私たち自然保護団体が、一番つらくて一番恐れているのが人身事故です。人身事故が起きると、当然ながら地元では「クマ殺せ」の声が高まってしまい、とてもクマたちとの共存など考えられなくなります。何とか、人身事故の発生を止められないものかと、私たちもやきもきしていましたが、残念ながら秋

田県には支部もないし、私たちの力不足で動けていませんでした。

そんな時、美郷町に夜こっそり何かを食べに来ていた（飢えに苦しむ）親子グマが、朝帰りに遅れ、人間に見つかったんでしょ、作用小屋に逃げ込んでいるというニュースに接しました。親子グマが逃げ込んだ小屋は、数十人の猟師や警察、行政に取り囲まれ、逃げ出せば撃ち殺される状況下にあります。クマも私たち人間と同じように豊かな感情を持っていますから、恐怖と後悔で途方に暮れている母グマの姿が目に見えます。

私たちは、この母グマはまだ人身事故も起こしていないのだから、例外的に山へ返してやってもらえないだろうか、秋田までお願いに行こうと思いました。全国の多くの子どもたちも、このニュースを見ているだろうから、殺処分しましたでは、人間の子どもたちも胸がつぶれてしまい、精神衛生によくないだろうと思いました。…中略… 熊森新潟県支部長が夜通し車を飛ばして…中略…美郷町に駆けつけました。急を知った秋田県会員もひとり現場に駆けつけました。新潟県支部長は、秋田県に抗議に行ったのではなく、頭を下げて親子グマの救命をお願いに行ったのです。

早朝、秋田に着くと、親子グマは、もうすでに箱罠に捕獲されており、住民の安全は守られていました。山に逃がすか、連れ帰るか、どちらにしても、熊森は非捕殺例を 1 例でも作ろうとしたのですが、長時間待たされた挙句、殺処分報告を受けました。私たちは胸がつぶれそうになりました。今回の親子グマ殺処分に対して、多くの声が美郷町や秋田県庁に寄せられたそうです。…中略…これに対して、マスコミが、役所の業務妨害になるとして、電話した国民を一斉に非難しました。これまで国民の自由な発言を大切にされてきたアエラまでもが、「秋田県美郷町に寄せられた苦情は 2 日で電話 450 件・メール 160 件、役場担当者の苦悩」と書きました。言論の自由を大切にしなければならないマスコミが、これではまるで国民に声を上げるなど言論封じしているように感じました。

電話をかけたみなさんは、魂からの叫びを伝えようとしたのだと思います。声を上げない日本国民がここまで多く電話したということは、同じことを感じた国民が他にも大勢いたはず。これを単なる身勝手な苦情や迷惑電話にしてしまうのは良くないですが、国民の言論を委縮させるものです。…中略…なぜ近年、こんなに多くのクマが山から出て来るのか。直接の要因は山に冬ごもり前の食い込み用食料がなかったことですが、背景には、人間が戦後、経済のために、山にスギばかり植え（秋田県の山の 50% はスギで、そこには野生動物たちの餌なし）、開発で奥山のクマ生息地を破壊し続け、今も、全国各地で野生動物たちの生息地である森林を大量伐採して再エネ推進名目でメガソーラーや風力発電建設などを建設し続けている事実があります。クマの多数出沒は、森を大切に守って来なかったこれまでの国策の失敗です。野生動物たちの生息環境を脅かしているのは人間なのに、生息数が増えたなどと物言えぬ野生動物たちに全責任が押し付けられ、彼らの命が奪い続けられています。マスコミは現象ばかり追わずに、原因を追究すべきです。

美郷町の果樹園は今年全てクマに食べられて壊滅状態だそうです。果樹園を営む方々も、国の森林政策の失敗によって被害を受けています。弱い所に、声を上げられない所に、しわ寄せが行くのです。リンゴ農家などに温かい支援の手が差し伸べられることを望みます。お怪我された方への見舞金も必要だと思います。…文末省略…』

新聞報道をまとめてみようとしたのですが、この内容は私の違和感をそのまま代弁していただいているようで、皆さんに是非読んでいただきたーいと考えました。と一緒に考えていただければと思っています。

2025 年 11 月 1 日

園長 中田一夫

11月の行事予定

7日・14日・21日・28日（毎週金曜日）10:20～幼児礼拝（そら・うみ）

3日（月） 文化の日 休園

6日（木） 10:15～ 幼児音楽リズム

8日（土） 11:00～14:00 尼崎教会にて「秋祭り&バザー」

12日（水） 9:40～ 幼児コスモ運動遊び

13日（木） 幼児お弁当日（お茶・カトラリー）

18日（火） 10:00～ 総合防災訓練（火災）

20日（木） 10:15～ 幼児音楽リズム

21日（金） 収穫感謝礼拝

※果物や野菜など秋の恵みに感謝する礼拝を守り、
みんなで協力して豚汁作りをします。

22日（土） 12:00～ 尼崎教会こども食堂「マンナ」

23日（日） 勤労感謝の日

24日（月） 振替休日 休園

25日（火） 10:30～ 誕生会

26日（水） 9:40～ 幼児コスモ運動遊び

27日（木） 保育料・主食代・副食代等 口座振替日です。

28日（金） 10:00～ アドベント礼拝Ⅰを守ります

※保育参加（11月で終了します）を希望される保護者の方は、早めに担任にご相談ください。幼児グループになると、お家の方と一緒に過ごすことを楽しみにしているようです。

<12月の予告>

13日（土）10:00～11:30 クリスマス会（尼崎教会にて）

※幼児対象の行事です。※幼児の保護者2名までの参加とします。

※イエス様をお祝いする会としての礼拝・オラトリオ・お楽しみ会

26日（金）～1月8日（金） 冬期自由登園期間

29日（月）～1月3日（土） 冬休み

※1月5日（月） 全園児お弁当日（お茶・カトラリー）

音楽リズムあそび（3・4・5歳児）

6日・20日（木）10:20～11:30

♪♪…リズム遊びを楽しみましょう。

コスモ運動あそび（3・4・5歳児）

12日・26日（水）9:40～12:00

運動しやすい服装・運動靴で登園しましょう。
浦松リーダーと元気に活動しましょう。

～11月27日（木）口座振替のお知らせ～

保育料（乳児）、延長・預り保育代、主食代（幼児/1,100円）、副食代（幼児/4,950円）、手数料（123円）、保育参加給食代（300円）、親子遠足代（2・3歳児/2,450円）、
おもほり参加費（4・5歳児/950円）を徴収いたします。

※振替日までに登録口座に資金をご準備ください。

11がつうまれのともだち

きくがわ のあさん 5さい

はせがわ あずきさん 5さい

あさやまひまりさん 4さい

レコイゲンさん 4さい

ヴァアンミさん 3さい

ゴーチャンアンニエンさん2さい

おたんじょうびおめでとう!

「読書の秋」というわけではないですが…保育園の絵本貸し出しコーナーの絵本を積極的に借りてくださる家庭が多く嬉しく思っています。日々保育の中でも絵本を読むことを大切にしています。

季節にあった絵本や子ども達の興味を引きそうな絵本、また園の行事に合わせて準備しているのですが、乳児さんも幼児さんも興味を持って見たり聞いたりしているように感じています。これからも「この絵本が見たい、読んで欲しい」という気持ちを大切にしてお過ごししていきたいと思います。園の貸し出し絵本もどうぞ活用してください。ルール（1冊ずつ借りて「貸し出しノート」に名前などの記入、また返却日を記入して、次の絵本が借りられる）を守って絵本を借りて、親子での「絵本タイム」のひとときをお楽しみください。

尼崎教会にて「秋祭り&バザー」を開催します

11月8日（土）11:00～14:00

今年も、尼崎教会において「秋祭り&バザー」を保育園と協働で行います。

フリーマーケット・カレーライス・焼きそば・フランクフルト・たこせん・野菜&焼き芋・ケーキ販売・めだかの販売・子どもたちの遊びコーナー・製作コーナーなどがあり、「小さな子どもから大きな人も共に楽しめる」をコンセプトに開催します。園児家族のみではなく、地域に開かれた色々な人との出会いや交わりを楽しめる機会になるのではないかと楽しみにしております。5歳児の親子には遊びのコーナーのお店番を交代でお手伝いいただいたり、土曜日開催ということで保護者の皆様にはご理解・ご協力をいただくこととなりますが、どうぞ尼崎教会へと足を運んでいただき、「秋祭り&バザー」を一緒に楽しんでいただきたいと思います。

よろしくお願いします。教会でお待ちしております。



副園長 杉原圭美